

2013年3月4日

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス

レジリエンス人材度測定ツール「リラク エムアールビー LLax MRP」の販売開始

株式会社損保ジャパン・ヘルスケアサービス（社長 今井達也、以下「SJHS」）は、ストレスや挫折に強く、職場環境に順応しやすい性格傾向に焦点を当てたレジリエンス（※1）人材度測定ツールを、新サービス「LLax MRP」として2013年4月1日から販売開始します。

※1 レジリエンス

ポジティブ心理学（※2）の基礎概念の一つで、認知行動理論を基盤とした困難、逆境に対処する力であり、人生の肯定的な側面を増強し、環境変化にしなやかに対応していける力とも位置付けられています。また、レジリエンスは、うつ病や不安障害に対する予防効果に関する多数の実践研究が行われ、有効性が示されています。

※2 ポジティブ心理学

組織や個人のあり方が、本来あるべき方向に向かう上で必要な諸要素について、科学的に検証・実証を試みる心理学の一領域で、1998年当時、米国心理学会会長であったペンシルベニア大学心理学部教授のマーティン・E・P・セリグマン博士によって発議、創設されました。現在、欧米を中心に急速に関心が高まり、著名なビジネススクールや大手企業などで研究や従業員教育などが行われています。

1. 「LLax MRP」開発の背景と導入の効果

ここ数年来、同僚や上司等との人間関係構築がうまくいかず、職場に適応できないことから、退職や勤怠不良を招く若年層の社員が増加する傾向にあり、その対応が企業の人事労務部門、採用責任者の課題として取り上げられています。

一方で、企業の採用活動では、厳しいビジネス環境にあって逆境、困難、失敗から迅速に再起し、変化に柔軟に対応しながら目標に挑戦し、自己成長を図ることのできる人材が強く求められていると考えられます。

上記のような現実を踏まえ、SJHSではストレスに対する強さ（ストレス耐性）だけでなく、良好な対人関係を構築するうえで重要な、コミュニケーションや組織、外部環境との適合を促す情緒面を評価するなど、より高いレベルで内面評価を可能にするツールが必要であると考えていました。このたび、後述の開発協力者および監修者のご協力により「レジリエンス人材度」を測定するツール「LLax MRP」の開発が実現し、2013年4月1日から新サービスとして販売を開始するものです。

本ツールをご活用いただくことで、採用後における人材活用のイメージや人材育成プランを自社の社風や業務内容に照らして立案いただけます。

2. 「LLax MRP」の概要

(1) 測定領域

「パーソナリティ」「レジリエンス」「心理的健康度」の3つの領域から、ストレスや挫折に対する強さ、職場環境への順応性、心の健康状況を計測します。各領域の特徴・下位尺度については別紙をご参照ください。

(2) 回答方法および評価結果のフィードバック

- ・ マークシートにより質問票（119問）に回答していただきます。所要時間は15～20分です。
- ・ 回答は「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」「どちらかと言えばそう思う」「そう思う」の4段階から選択して回答する、自己記入式です。
- ・ 評価結果については、回答した個人ごとに「総合評価」をA～Eまでの5段階で表示するとともに、回答内容に応じたコメントを表示します。また、「パーソナリティ」「レジリエンス」「心理的健康度」の3つの領域およびそれぞれの領域を構成する下位尺度ごとにも同様に5段階評価とコメントを表示します。
- ・ 評価結果は企業のご担当者（経営・人事部門等担当窓口の方）へフィードバックします。

(3) 「LLax MRP」の活用例

- ①内定者を対象として実施いただくことで、入社前後の人材育成等のフォローアップに効果的に活用いただけます。
- ②人材選考における内面評価を充実させる目的で、面接時の補助ツールとして活用いただけます。

3. 「LLax MRP」の開発協力者と監修者等

- ・ 開発においては、約1,000名の若年労働者を対象にフィールド調査を実施しました。
- ・ 「MRP」は、「心理的健康度＝Mental health」「レジリエンス＝Resilience」「パーソナリティ＝Personality」の3領域の頭文字から命名しました。
- ・ 「LLax」は、2013年4月から展開する新たなブランド名で、従来の「mimoza」の後継ブランドです。
- ・ 開発には、株式会社損害保険ジャパンのほか下記の方々のご協力を得ています。

開発協力者：お茶の水女子大学 大学院 人間文化創成科学研究科 准教授 岩壁 茂 氏
および岩壁研究室の分担研究者

監修者：国際医療福祉大学 医療福祉学部 教授・精神科医 上島 国利 氏
聖徳大学 児童学部児童学科 准教授・精神科医・日本医師会認定産業医 中川 和美 氏
以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社損害保険ジャパン・ヘルスケアサービス

サービス統轄本部 ヘルスケア研究所 井田 浩正、立脇 真緒（TEL：03-3349-9205）

<会社概要>

【社名】	株式会社 損害保険ジャパン・ヘルスケアサービス *2013年4月1日、「損害保険ジャパン日本興亜ヘルスケアサービス株式会社」に社名変更します。
【設立日】	2007年4月2日
【資本金等】	7.9億円（資本金4.95億円、資本準備金2.95億円） *NKSJホールディングス株式会社 100%出資
【本社所在地】	東京都新宿区西新宿1丁目26番2号 新宿野村ビル10F
【代表者】	代表取締役社長 今井 達也
【事業内容】	・メンタルヘルス対策プログラムおよびメンタルヘルスケアの各種支援ツールの研究・開発 ・企業のメンタルヘルス対策に関する産業保健体制の支援 ・企業のメンタルヘルス対策に関連した制度構築等に対するコンサルティング業務

「LLax MRP」における3領域と下位尺度

パーソナリティ

パーソナリティは個人の行動や感じ方、考え方の型となり、異なる状況でも一貫した反応の仕方を作り出します。ここでは、特に仕事の取り組み、周囲の人との関係の持ち方といった若手社員に要求されるパーソナリティの側面に注目しています。特に、他者との関係の持ちやすさ、ネガティブな評価や批判をうまく消化する傾向、物事の肯定的な面を捉える傾向などが含まれています。

下位尺度	内容
失敗に対する寛容性	作業・課題に取り組む際に、細かいことにとらわれる傾向
否定的評価への耐性	上司や周囲の人からのネガティブな評価や批判的なコメントに、気持ちが揺さぶられる傾向
心の防御性	他者との関係で自分から壁を作ったり、必要以上に距離をとろうとする傾向
人と関わる社交性	人と一緒にいると緊張してしまい、自分の力が出せないという意識を持っている傾向
楽観的な思考性	物事を前向きに捉え、良い結果を想定して作業に取り組む傾向

レジリエンス

レジリエンスは、困難な状況やストレスが高い状況でも大きく崩れることなく、対処する力です。レジリエンスはふつう大きな困難に遭遇したときにはじめて発揮される力とされますが、本テストでは、職場での適応を考えると、毎日の小さなストレスをためずにうまく処理し、良い健康状態を維持する力こそがレジリエンスにつながると考え、このような力を重視しています。

下位尺度	内容
自己調整力	自分の気持ちの状態を絶えずモニターし、調整していくことができるか
ストレス緩衝力	自分の感情に振り回されず、考え、行動することができるか
挫折からの回復力	自分の欠点や失敗を受け入れ、気持ちを切り替えられることができるか
耐久力	逆境にくじけることなく立ち直ることができるか

心理的健康

心理的健康は、現在の感情的安定度を示します。日常生活における気分の落ち込みや不安、自分自身への満足感の程度は、今後もその個人が感情的に安定し、自身がもっている力を発揮し、成長していけるかどうかに関係しています。

下位尺度	内容
抑うつ感情	現在、気分の落ち込みや、意欲の低下がどの程度みられるか
不安感情	現在、どの程度不安や焦燥感に駆られているか
自分への満足度	現在の生活や自分に対する満足度がどの程度か